

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺満隆
工藤良一・富岡隆

代表質問

小野寺 幸恵 議員



市長は、I R誘致などで「若者が住みたくなり、住んでいる市民が良かったと実感できるまちづくり」にチャレンジする」と述べていることから、「市民から共感を得るのは難しい」と指摘。一方で「中心市街地の活性化が全く進んでいないとの厳しい声がある」と、まちなかの活性化策に対する市長の姿勢をたどしました。

景気・雇用対策として、30年度からの中小企業振興計画で小規模事業所の施策を強化するよう提案するとともに、無期転換制度（有期雇用で5年を超えて契約を繰り返し続けた場合、本人の申し出で無期雇用へ転換させる制度）の市民周知を求めました。

また、平成14年から繰り返し提案していた地元大学の入学者を対象とした奨学金利子補給の実施について質問。31年度から実施するとともに、市内の企業に就職した場合は、奨学金の元金も支援をすることが明らかになりました。

さらに、駅北口の旧トモール解

体工事で、元請業者によるアスベスト飛散防止の法令違反について厳しく指摘し、市民の安全安心を求めました。

一般会計予算委員会

渡辺 満隆 議員



● 公用車のリース契約について

公用車132台のリース契約を調査すると、ライトバン（A事業者）が13年間、軽自動車（B事業者）が11年間も連続して落札していることを指摘。担当部局は「公平性及び透明性の観点から、入札仕様書を確認したい。また、公用車以外にも3年連続で同じ業者と契約しているケースが148件あり徹底したい。」と答弁しました。

● 漁港区の違法建築物について

平成14年に指摘した漁港区の違法建築物について、漁組は昨年7月に是正計画書を策定しましたが、新たに7棟の違法建築物があることを市・港管理組合は黙認していたことを厳しく追及しました。

市長は陳謝し、早急に漁組・市・港管理組合の3者で協議し、是正計画書の履行を約束しました。

企業・特別会計予算委員会

富岡 隆 議員



● 介護保険会計

包括支援センターの業務量が増えている実態から、職員の増員や7カ所体制から8カ所の体制にすることなどを提案し、検討がされてきた経緯から、30年度からの体制について質問しました。

担当部局は、包括支援センターの業務量調査を実施し、相談件数の増と相談1件あたり複数回・長時間化になっている実態から、1ヶ所あたり250万円の増額で、7カ所全体で1,750万円の予算増となりました。

● 後期高齢者医療会計

30年度から保険料の特例軽減が廃止されることにより、2,359名が影響を受け、年間最高12,900円も負担増になることが質疑で明らかになり、「6割を超える所得無し

の高齢者や所得の低い方からも保険料を徴収するひどい制度である」と指摘し、制度の廃止を求めました。

工藤 良一 議員

● 霊園会計

30年度の墓園センター改修工事の具体的な進め方について質問し、腐食した下段部分の木レンガブロックを撤去して整地し、上段部分については今後順次検討することが示されました。

● 公設地方卸売市場会計

青果棟の建物劣化調査をふまえた安全性について質問し、「修繕をしながら概ね15年は運用できる」との答弁でした。また、中卸業者が5社から3社になったことから、市場のコンパクト化と市民向けの機能構築について提案しました。担当部局は、「市民への一般開放や品質管理などについて検討したい」と答弁しました。

● 水道会計

1月の寒波による水道凍結・破裂について質問し、シーズン全体では例年並みであり、水道凍結による水道会計への影響はなかったと回答がありました。